

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	障害福祉啓発事業				事業番号	011-121	
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
2	関連計画			第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画				
3	事業開始年度			平成 3 年度		点検対象年度		令和 7 年度
4	実施根拠			障害者基本法				

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁					
6	事業の対象		市民				対象数	単位
							808,404	人
7	事業の目的		障害者に対する市民の関心や理解を促進するとともに、障害者の社会参加意識の醸成を図る。					
8	事業内容		1. 大阪ふれあいキャンペーン実行委員会 大阪府・大阪市・堺市を含む府下の市町村及び障害者団体・地域福祉団体で構成する大阪ふれあいキャンペーン実行委員会に事務局市として参画し、ポスター等啓発物の作成や配布を行う。また、援助や配慮を必要としている方が周囲の方に知らせるためのヘルプマークについて、周知・啓発活動を行い、必要な市民に対しヘルプマークを配付する。 2. 障害者週間関連事業 健康福祉プラザにおいて障害者週間啓発イベント「障害者週間フェスティバル」を開催する。また、SNSやデジタルサイネージ等を活用し、障害理解の啓発を行う。 3. 心の輪を広げる障害者理解促進事業 将来を担う若者への啓発・広報活動の一環として、障害や障害者への理解や関心を促進するため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を募集し、作品集の小中学校等への配布や駅構内でポスターを掲示することにより、障害者への理解促進を図る。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容							
9	主な支出先		大阪ふれあいキャンペーン実行委員会					
10	公民連携・協働事業							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	ヘルプマーク配付数	個		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	3,000	2,790	2,790	2,790
			実績値	2,701	3,307		
			達成率	90%	119%		
当該指標を選定した理由		ヘルプマークの配付数増加は社会の障害理解を促し、障害者の社会参加を促進させるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		目標値は大阪府からの割当数。実績値は障害施策推進課、各区役所地域福祉課及び保健センターにおける配付数合計。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	心の輪を広げる障害者理解促進事業にか かる作文、ポスターの応募者数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	30	30	30	
			実績値	19	7		
			達成率	63%	23%		
当該指標を選定した理由		作文とポスターの応募数増加は社会の障害理解を促し、障害者の社会参加を促進させるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		目標値は前年度実績をもとに設定するが、前年度実績が目標を下回った場合は前年度目標値と同じにする。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害福祉啓発事業	事業番号	011-121
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	173	164	179	184	183
	財 源					
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
14	人件費（b）	820	810	810	810	840
	年間経費（c）=(a)+(b)	993	974	989	994	1,023

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	普通旅費	決算	0	0			決算			
		予算	0	0			予算			
	印刷製本費	決算	42	42			決算			
		予算	41	41			予算			
	大阪ふれあいキャンペーン負担金	決算	142	142			決算			
		予算	142	142			予算			
		決算					決算			
		予算					予算			
		決算					決算			
		予算					予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① ヘルプマーク配付数	個	2,701	3,307
	② 上記①にかかる年間経費	千円	810	810
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	300	245
	算出についての説明等	ヘルプマークは大阪府から無償で配布されるものであるため、人件費のみ積算		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度のヘルプマーク配布数は、前年度比159%と大幅に増加したため費用対効果が向上した。市民の方の需要の高まりもあるが、配布拠点である各区役所の地域福祉課・保健センター及び堺市健康福祉プラザと連携し、在庫切れを起こさないように効果的に各拠点に分配することにより、求める市民すべてに配布できたことも配布数増につながった。 心の輪を広げる障害者理解促進事業にかかる作文、ポスターの応募者数は、令和5年度と比べ12件減となった。令和5年度は、特定の小学校からまとまった応募があったため応募数が増加したが、令和6年度はまとまった応募がなかったため、応募数が減少した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	「心の輪を広げる障害者理解促進事業」の実施や、健康福祉プラザにおける「障害者週間フェスティバル」の開催、また同時に堺市役所や各区役所でデジタルサイネージを使用するなど、広く市民に障害理解を深めてもらう取組を創出した。またヘルプマークの配布は、全ての配慮が必要な方に支援が届けられる環境整備に寄与した。上記の障害の理解啓発は、市民の障害への理解が深まることとなり、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組に対して寄与している。
----	---